

## 奈良市 無電柱化 住民賛同の壁

今回、奈良市に「電線類地中化についてのアンケート」を実施し、無電柱化に対してどのように考えているか？ また、今後の計画、住民からの声などを調査しました。

奈良市は京都市と並び、多くの歴史的建造物があります。そこに電柱や電線があると景観を悪くしたり、道幅を狭くしたりと、日本人や外国人観光客を悩ませます。そのため、無電柱化を進めることは、より多くの観光客を集め、観光業を活性化させることにもつながります。

※奈良市役所 道路建設課 田中様にアンケートを実施しました。ありがとうございます！

### Q1.奈良市が考える電線類地中化のメリット・デメリットは、何ですか。

A. **メリット**：電線類地中化で、地上にある架空線や電柱をなくすことで、景観がよくなる。また、地中化で道幅を広くすることができる。

**デメリット**：万が一、地中化されている電線などの復旧作業が必要になった場合、復旧に時間を要してしまう。また、地中化で地上機器が各所に必要になる。

### Q2.日本は電線類地中化が全体で2%（2008年3月末）しか進んでいないが、奈良市は何%まで進んでいますか。また、今後の地中化はどこまで計画していますか。

A. 奈良市全体としての地中化整備計画の作成を行っていないため、明確な進捗率はない。ただ、地中化の整備済延長は2km程度なので市全体の道路では 1%にも満たないと思われる。

### Q3.電線類地中化は、コストや時間がかかると言われていますが、それを解決または改善するためには何が必要だとお考えですか。

A. 地元住民との協議に時間を要するため、住民の全面協力が必要かと考える。

### Q4.電線類地中化を行う前の住民の要望や地中化実施後の住民の反応にどのような声がありますか。

A. 住民からの賛同は、あまり得られていないのが現状である。（工事を計画し、進めるために住民の許可を得ようとしても商店街に店を構えていたりする人もおり、賛同がなかなか得られない。）

### Q5.電線類地中化で、住民ができることに何があるとお考えですか。

A. 地中化する際に大規模な掘削工事が必要になるため、近隣住民の協力は必要と考える。

以上が、奈良市へのアンケート内容です。  
2009年7月にマニフェストに奈良町の無電柱化を掲げて、颯爽とデビューした仲川げん市長ですが、現状では、奈良市は無電柱化が進んでいません。奈良市の電線類地中化の予算は決まっておらず、計画や準備にかかる費用として、1,000万円の予算は決まっている、とのことでした。無電柱化を進めるにはコストや作業時間がかかる中、住民の方々の意見や、賛同の声・意識が必要となるとともに、仲川市長のリーダーシップにも期待したいですね！



私達が住む日本の空を、みんなで美しい空へ！

# 美空 ~MISORA~

第74号

発行日：2014年10月25日(土)

発行者：NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク

理事長 高田 昇

【活動報告】理事会…2014年9月26日 COM 計画研究所

■9月度理事会(18:10~19:30)

○技術開発委員会<井上理事>：

・現在大阪では2か月に1回、無電柱化の用途地域等（第1種低層等）に合わせた部材、工法の現行のメニューをまとめている。

・佐々木理事を中心に東京で無電柱化コスト削減、狹隘道路の無電柱化の手法をまとめているので連携していきたい。

・直接埋設方式の問題点の資料をまとめた。事務局長が発信。

○世論形成委員会<荒閑理事>： ・フォーラムの要約版リーフレットを作成する。

○事業協力委員会<高田理事長>： ・現在進行中の案件の説明。

○その他：

・次回セミナー案紹介

・フォーラムの収益は赤字だった。

■東京活動委員会報告 9月25日(木)19:00~ 経団連会館8階(株)住友林業会議室

○理事会報告<井上事務局長>： ・東京シンポジウムについて

○理事増員の件

○技術部会<佐々木理事>：

・施工のスピードアップ方法、課題について

○道志村報告<前川会員、阿部V会員>： ・無電柱化について提案と意見交換

○見附市進捗報告<小方会員>：

・調整会議等の実施

○話題提供<井上事務局長>：

・ドイツまちなみ報告

### ◆次回の理事会の日程

■大阪10月27日(月)18時~

COM 計画研究所

各委員会報告等

■東京10月30日(木)19時~

経団連ビル8階 住友林業会議室 M-1

話題提供：前川会員「東京都の無電柱化ガイドラインのまとめ」



ホームページでも、最新情報を詳しく掲載していきます。<http://nponpc.net/>  
フェイスブックはこちら：<http://www.facebook.com/NPONPC>

# 電線のない美しく安全なまちづくりフォーラム

8月号に引き続きフォーラムの振り返りの続きを行いたいと思います。今回は、シンポジウムの様子をお届けします。(敬称略)

## <シンポジウム～小池百合子氏 森昌文氏 吉村庄平氏 松沢斉氏～>



日本の無電柱化はなぜ遅れているのか？

**松沢**：日本では景観に対する住民や行政や電力会社の意識が低い。また、専門知識がいることや利害関係者多く、その調整などが難しいことなどもある。

**吉村**：①コストがかかる。②周辺住民との調整に時間がかかる。③違和感や不快感を覚えない人が多い。

**森**：現在もまだまだ電柱は増えているというのが問題。コストの問題や沿線の住民の協力を得る必要があることも問題だ。電線を抜く主体は市町村になるので、その方々全員に分かってもらい、熱意を持ってもらう必要がある。



無電柱化を進めるにあたってそれぞれが今できていないことは？

**吉村**：社会全体の大きな後押しが必要。道路の幅や歩道の整備の要望は毎日あったが無電柱化の要望はほぼなかった。

**森**：法律を作っても沿線の住民や電力関係の方の理解や協力が必要。

**小池**：国民の意識を高め、必要なものにはお金を付ける必要がある。また、直埋方式やトランスをコンパクトにする必要がある。無電柱化基本法を進めていきたい。さらに、日本では工事を夜中に行う必要がある。夜間の労働は効率が悪いのでなかなか進まない。



無電柱化を進めるにあたって必要なことは？

**森**：メリハリのある計画を立てることが必要。例えば駅前、バリアフリーなどには電柱を立ててはいけない等。そこは絶対に例えば10年で協力して行うなど。

**吉村**：①新設道路の際には新しい電柱を禁止。区画の道路を作る前に電柱が立っていることもある。そこも含めて新設道路の電線を禁止にできたらかなり違う。②電線管理者のインセンティブが必要。③国民全体の意識改革。

**松沢**：私たちが行おうと思っている駅前の道路は、県道と国道が交差している。車で来る人が通る道路には電柱がなかった。しかし、みるみるうちに電線がたってしまった。また、村長に新しい電柱を立てないという条例を作ってほしいということを言っている。さらに、県に村役場に無電柱化推進室を立ててほしいと頼んだが、10万人規模の都市しかできないと言われた。

**小池**：(心)の面では、意識していない人をどのように変えていくかということが大切。(技)の面では場所によって工事方法を変える、電磁波で道路の基本台帳を作るなどの方法が

ある。(体)の面では、新しい電柱は作らないと決める。そうでないと無くならない。



最後に1人一言ずつお願いします。

**松沢**：自分の生まれ育った町を誇れるまちにして欲しいし、行動を起こすことが必要。

**吉村**：地方自治体としては、人目につく場所を重点的に無電柱化の場所を増やしていき、自分の住んでいる街と無意識的に比較して欲しい。そして違和感を覚えて欲しい。

**森**：表題の通りで、電柱のない町が当たり前だという世の中を目指して意識改革を行って行きたい。

**小池**：2050年に生まれるかもしれない子供に電柱があったというと驚かれるような街づくりを行って行きたい。そのために、心技体整えて行きたい

## <参加者からの質問>

- ・電力会社は無電柱化には関心があるのかないのか？
- ・更新時期を迎えた電柱の更新に関して配慮義務等があれば指導しやすいので入れてほしい。
- ・競争原理が働けばコストダウンがしやすいのでは？

**高田**：電力会社、通信会社が率先して行うことはないが協力しないことはない。ただし、このような場に来てお話をされる立場ではない。

**森**：電力事業者、通信事業者へ持ち込めば意見や提案に乗ってくれる。参加メンバーにいないわけではない。

コストの議論もあったが、補助金であれ電気料金アップであれ、結局は国民が負担することになる。電柱を取りたい人と管理したい人が違うという例もあったが基金を作っていく必要がある。

**吉村**：無電柱化に向けて都道府県などの道路管理者が位置付けて予算を付けてやっていくという方法もある。県が出そうと市が出そうとそっちみち国民がお金を負担していくことになるので、意識改革が必要。

**小池**：無電柱化の基本的な考え方は、社会資本にすること。無電柱化を2020年東京オリンピックが残したものにしていきたい。また、これまでの計画の延長戦だけではなく、電力エネルギー、水などのインフラを安心安全の街づくり一貫としてコンセプトを変えて行っていきたい。社会資本は5～60年の話なので今後どのようにしていくのかの評議会・連絡会を作っていくことが必要。



「美空」に載せてほしい事、調べてほしい事などがありましたら [info@nponpc.net](mailto:info@nponpc.net) までお送り下さい！  
皆様のご意見、お待ちしております！ tel:06-6381-4000 Fax: 06-6381-3999(※番号変わりました)

電線地中化に関するコラム・情報を月2回メールマガジンで配信しています！

ぜひこちらもご登録下さい！ → <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>